



2021年11月10日

各 位

会社名 豊トラスティ証券株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 安成政文  
 (コード番号:8747、JASDAQ)  
 問合せ先 専務取締役管理本部長 多々良孝之  
 (TEL.03-3667-5211)

## 2022年3月期第2四半期累計期間の連結及び個別業績見通しに関するお知らせ

2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の連結及び個別業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期第2四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

## (1) 連結

(単位:百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第2四半期連結累計期間速報値 (2022年3月期第2四半期累計期間)(A)	3,139	3,129	550	605	354
前年同期実績 (2021年3月期第2四半期累計期間)(B)	2,836	2,823	272	313	223
増減額(A-B)	303	305	278	291	130
増減率(%)	10.7	10.8	102.1	93.1	58.4
(参考)2021年3月期実績	5,891	5,868	605	699	536

## (2) 個別

(単位:百万円)

	営業収益	純営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
当第2四半期個別累計期間速報値 (2022年3月期第2四半期累計期間)(A)	3,081	3,071	534	605	366
前年同期実績 (2021年3月期第2四半期累計期間)(B)	2,711	2,698	195	293	244
増減額(A-B)	369	372	338	311	122
増減率(%)	13.6	13.8	173.4	106.1	50.0
(参考)2021年3月期実績	5,820	5,797	636	796	665

## 2. 差異が生じた理由

### (1) 連結業績見込み

2022年3月期第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による影響が長期化する中において、9月の日銀短観にて発表された業況判断指数(DI)は、大企業製造業において海外経済の回復に伴う輸出の増加を背景に3年ぶりの高水準となり、大企業非製造業においては小幅ながら2四半期連続のプラス圏に転じながら、新型コロナウイルスの影響が大きい対個人サービスや宿泊、飲食業が大幅なマイナス圏で推移するなど業種による格差が拡大しております。先行きの経済は、外需については海外経済の回復に伴う輸出増加を背景に回復基調が続き、内需についてはワクチン接種の進展や緊急事態宣言の全国的な解除による活動制限の緩和により個人消費は回復に向かう見通しであります。

一方、世界経済は、米国では新型コロナウイルスのデルタ株感染拡大が個人消費や雇用回復の重石となり景気回復は鈍化したものの、9月の米国供給管理協会(ISM)景況感指数は製造業、非製造業ともに高水準を維持しております。中国では新型コロナウイルスの感染封じ込めによる活動制限の強化や政府による投資抑制、半導体不足による供給制約により景気回復が減速しております。先行きは米国においてはワクチンの義務化やブースター接種等の感染抑制策による外出を伴う消費機会の増加や雇用、所得環境の改善、積みあがった貯蓄の取り崩しによる個人消費が追い風となり景気回復が再加速することが予測され、中国においても活動制限と投資抑制策の緩和により景気回復が再加速する見通しであります。

このような環境のもとで、当社グループの当第2四半期連結累計期間の商品デリバティブ取引の総売買高734千枚(前年同期比5.0%増)及び金融商品取引の総売買高2,102千枚(前年同期比255.3%増)となり、受入手数料2,957百万円(前年同期比13.1%増)、トレーディング損益173百万円の利益(前年同期比17.7%減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は営業収益3,139百万円(前年同期比10.7%増)、純営業収益3,129百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益605百万円(前年同期比93.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益354百万円(前年同期比58.4%増)を計上する見込みであります。

### (2) 個別業績見込み

個別業績の対比につきましては、営業収益3,081百万円(前年同期比13.6%増)、純営業収益3,071百万円(前年同期比13.8%増)、経常利益605百万円(前年同期比106.1%増)、四半期純利益366百万円(前年同期比50.0%増)を計上する見込みであります。

以 上